

リスナーさんに教えていただいた、市販の国旗立てを使った外部アンテナの作り方です。参考にしてみてください！参考価格も記載いただきました。

【用意するもの】

- ・ホームセンターなどで売っている国旗立て(ステンレス製)…1, 111円
- ・木製の棒(長さ600mm×直径24mm)…288円
- ・古くなったラジオやラジカセのアンテナ
- ・配線用電線(リード線) 50cm ぐらい…¥57/m
- ・小さな目玉クリップ
- ・絶縁ビニールテープ(色は問いません)…1個60円位
- ・ラジオはホームセンターで売っている2000円ぐらいのもので十分です。

※製作時間は30分もかかりません。

【解説】

- ・国旗立ては屋外の取付となるため、経年劣化が少ないステンレス製がいいと思います。国旗立てなので、使わない時は、取り外しも超簡単ですよ。
- ・木製の棒は、国旗立てに差し込むことができれば何でもいいです。ゆる過ぎると強風で脱落する可能性があります。きついと取り扱いが面倒になります。
- ・リード線は太さが0.75sq(スクエア)又は1.25sq(スクエア)ぐらいのものを使用します。私は1.25のを1m使っています。洗濯機などについていて使っていないアース線(一般的に見かけるのは緑色被覆の丸い線)を使ってもいいです。
アンテナとリード線とクリップが繋がっているので、アンテナを伸ばす必要はありません。
黒のビニールテープでぐるぐる巻いていますので、アンテナが棒状の部材から風で外れることもありません。
- ・目玉クリップはアンテナを挟める小さな金属製を選んで下さい。プラスチック製やアンテナを挟めない、スカスカになる大きなものはダメです。

【製作のアドバイス】

CDラジカセ等のロッドアンテナは、概ねいっぱい伸ばして約90cmあり、私が使った木製棒は約60cmあります。

アンテナと木製棒を重ねる部分は15cmぐらいで十分ですが、丸い棒に丸いアンテナを巻いて一直線にさせるのは割りと難しいです。どうしても真っ直ぐにできない場合は、重ねる部分の長さだけ木製棒に定規で線を引き、彫刻刀の丸刀か三角刀で予めアンテナが少しはまる溝を(深さ幅共に2mmぐらい)つけるとビニールテープで巻く時にずれなくていいです。

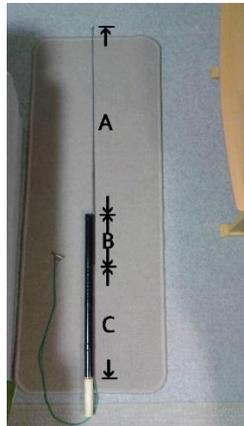
ロッドアンテナの根元には丸い穴があり、そこに被覆を剥いたリード線を通してよじります。

残りのリード線は木製棒にはわせ、室内に引き込む手前までビニールテープで巻いて下さい。「だら～ん」と垂らすのは断線の原因になります。

【注意すること】

- ・極めて雷が近い場合は、誘導雷(雷サージ)によりラジオが壊れることがないとはいえません。雷が近い時は、目玉クリップをラジオのアンテナから外すか、アンテナ自体を国旗立てから抜いて室内にしまって下さい。

- ロッドアンテナと目玉クリップを繋ぐリード線の、アルミサッシ等に挟まる部分は、窓やドアを閉めると複雑に曲がり少し“つぶれた状態”になります。つぶれた状態だと受信感度は若干下がります。どうしても感度を下げたくない場合は画像のような『フラットケーブル』を使い、本格的に引き込む方法もありますが、リード線とのハンダ付けが必要になります。



Aはロッドアンテナ露出部分。
Bはロッドアンテナと木製棒の重なっている部分(約15cm)。
Cはリード線がビニールテープに巻かれている部分。



木製棒を下から見た状態



木製棒のサイズシール



必要に応じて、結束バンド等もお使い下さい



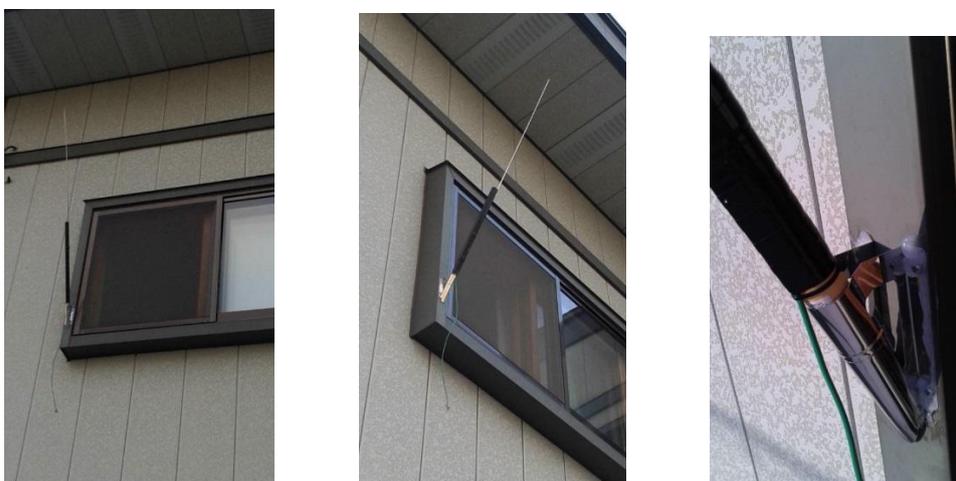
目玉クリップとリード線に接続部分(ハンダ付けの必要はありません)



室内引込用のフラットケーブルの例(受信感度アップのためラジオで使うには、ハンダ付け等の加工が必要です)



目玉クリップをアンテナに挟んだ状態



国旗立て